

## 先端研究所研修を実施

12月17日(土)に神戸ポートアイランドで先端研究所研修を行い、普通科と理数科1,2年生の希望者30名が参加しました。午前は「日本テクノロジーソリューションズ株式会社」で、午後は「甲南大学ポートアイランドキャンパス」で研修を行いました。

日本テクノロジーソリューションズ株式会社では、シュリンク包装機(商品に装着したシュリンクフィルムを収縮させる機械)を開発しており、身の回りの多くの商品のラベル包装に使われています。実際に、機械が商品にシュリンクフィルムを収縮させる様子や社内の施設を見学した後、「企業経営実践的叡智～行動するリーダーになるために～」という題目で社長の岡田耕治様に講演をしていただきました。

甲南大学ポートアイランドキャンパスでは、フロンティアサイエンス学部生命化学科教授の西方敬人先生による実験・講義やキャンパスツアーを行いました。白衣を着て実験を行い、大学で研究する際に使用する実験器具を使いながらマクロファージの貪食能の測定の実験を行いました。キャンパスツアーでは多くの実験機器を見学することができ、大学での研究への意欲を高めることができました。

## &lt;生徒感想の抜粋&gt;

- ・自分の家や身の回りで使っているものほとんどの製品で、この会社の技術が使われており、科学技術の重要性を実感できた。
- ・社長の岡田さんから行動することの大切さを学べた。未来が分かっているけど行動できない人が多い中で、行動できる人が今後大切になってくるという話を聞いて、自分も頑張っていきたいと思えた。
- ・企業の社長の方の話から「行動するリーダー」について考えることができた。現状の姿に留まろうとする規制力に負けず、行動することが成功へとつながることが分かった。
- ・大学での実験は、単に指示をされて動くのではなく、自分で考え、理解した上で行うことが大切だということを教えていただいた。
- ・実験の説明を聞いている中で、高校で勉強した組織や器官が出てきたり、実験器具の使い方は学校での経験を活かしてすぐに理解できたりしたので、日頃の勉強はいろいろなところで役立つのだと実感した。
- ・学生さんは自分の好きな研究を積極的にしており、大学に泊まり込んで研究ができるような設備も整っていた。また、研究だけでなく、将来役に立てる人材になれるような取り組みもしており、甲南大学のような大学に将来は入学したいと思った。

